

# 参加申込規定

## 参加定員

150名(申込先着順)

※定員になり次第、締め切らせていただきます

## 参加料

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 会員  
一般社団法人日本物流資格士会 会員  
8,640円/1名  
(参加料8,000円+消費税640円)

上記会員外  
12,960円/1名  
(参加料12,000円+消費税960円)

## お申し込み方法

- WEBまたはFAXにて受け付けています。
- 【WEBの場合】  
当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。  
[www.logistics.or.jp](http://www.logistics.or.jp) または「JILS」で検索  
トップ → 講演会・大会 → 大会
- 【FAXの場合】  
下記申込書の必要事項をご記入の上、事務局へFAXにてご送付ください。  
※開催間近のお申込みについては事務局へお問い合わせください。

## ご注意

- 請求書は原則として合計金額を参加者の最上段(参加者1)の方にお送りいたします。その以外をご希望の方は、通信欄にご指示ください。
- 参加料は指定の銀行口座(請求書に記載)に開催前日までにお振込み願います。
- 振込手数料は、お客様にてご負担願います。
- 参加予定の方の都合が悪い場合は代理の方のご出席をお願いします。なお、代理の方の出席も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。

<キャンセル規定>  
開催7日前～前々日(開催初日含まず起算)・・・参加料の30%  
開催前日及び当日・・・・・・・・・・・・・・参加料の全額  
注)キャンセルはFAXでのご連絡のみお受けいたします。

## 会場のご案内

- 名古屋銀行協会 5階ホール  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目4-2  
TEL:052-231-7851  
(交通)地下鉄丸の内駅(鶴舞線・桜通線)下車4番出口より徒歩10分

## 参加申込/お問合せ先

- 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 中部支部  
〒450-0003  
名古屋市中村区名駅南4-12-17  
TEL:052-588-3011 FAX:052-588-3012  
メールアドレス:chubu@logistics.or.jp

## 中部物流改善事例発表会2018 参加申込書

お会社名	<input type="checkbox"/> 日本ロジスティクスシステム協会会員 <input type="checkbox"/> 日本物流資格士会会員 <input type="checkbox"/> 上記会員外 (該当欄の□にレ点)
------	---

参加者1	氏名	フリガナ	〒	勤務先所在地
	ご所属・お役職	TEL ( ) ( )	FAX ( ) ( )	メールアドレス ( ) @ ( )

参加者2	氏名	フリガナ	〒	勤務先所在地
	ご所属・お役職	TEL ( ) ( )	FAX ( ) ( )	メールアドレス ( ) @ ( )

<通信欄> [LA1833]

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では個人情報の保護に努めております。詳細は当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本発表会に関する確認・連絡・参加者名簿の作成および当協会主催ならびに関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

参加申込 FAX **052-588-3012** 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 中部支部

# 中部物流改善 事例発表会 2018 ～開催のご案内～

- 開催日時  
**2018年11月21日(水) 13:30～17:00**
- 開催場所  
**名古屋銀行協会 5階ホール**(名古屋市中区丸の内2丁目4-2)

- ◆中部物流改善事例発表会とは
  - ・物流現場におけるさまざまな問題を改善するためのノウハウやヒントを共有する場
  - ・物流現場改善に関する取り組み事例を相互に発表する情報交流の場
- ◆今回の発表事例のテーマ  
ピッキング作業場における作業生産性向上、RFID等の技術を活用した生産性や品質の向上・教育での利用、高齢者や女性が作業しやすく安心・安全な環境の整備、意識や行動特性に基づく安全教育活動、無人化に向けた新技術の活用

- 事例発表企業 (会社名五十音順)

1 (株) ケー・シー・エス	4 日本トランスシティ(株)
2 ジャトコ(株)	5 (株) 富士ロジテック・ビジネスソリューションズ
3 (株) デンソーロジテム	2 ホンダロジコム(株)

【記念講演】  
**2018年度物流合理化賞受賞 東芝ロジスティクス(株)**

主催:公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 中部支部  
一般社団法人日本物流資格士会 中日本委員会

# 中部物流改善事例発表会 2018 プログラム

13:30-13:35 【開会挨拶】 加藤 博巳 中部物流改善事例発表会 2018 実行委員会 委員長  
高末(株) 代表取締役社長

## 13:35-16:00 【物流改善事例の発表】(全6事例)

① 13:35-13:55  
魚眼カメラ活用による品質向上対策  
及び新人教育体制の確立  
(株) ケー・シー・エス  
西村 晃 氏 営業推進部 1グループ長  
(第16期ロジスティクス経営士)  
発表企業業種:卸売業 取扱品:コンビニ向け食品

コンビニエンスストアの庫内仕分け作業において、魚眼カメラを活用した品質向上の対策に取り組んだ事例。魚眼カメラによって撮影することで業務の無駄を排除し、欠品率約17%削減、返品率約13%削減の成果をあげた。また、臨時従業員の新人教育として、商品の仕分け時の問題点の分析等を実施しているが、そこでも魚眼カメラを教育ツールとして導入した。

② 13:55-14:15  
高齢社員・女性社員目線で  
取組んだ職場改善  
～「楽しく、長く働きたい」が聞きたくて!～  
(株) デンソーロジテム  
近藤 羽留奈 氏 SCM本部 高棚部品物流センター  
部品梱包課 係長  
発表企業業種:物流子会社 取扱品:自動車部品

体力的弱者でも安全・安心して作業できる環境づくりに関する事例。自動車部品の輸出梱包を担っている現場で、月間5万箱の詰替え作業を60代の高齢社員(60%)や女性社員(35%)が従事している。そこで無理な姿勢での作業削減やミスを起こさせない仕組みなどのポイントをふまえ、体力的弱者でも安全・安心して作業できる『人に優しい職場づくり』に取り組んだ。

③ 14:15-14:35  
RFIDを活用して  
作業品質と生産性を改善  
(株) 富士ロジテック・ビジネスソリューションズ  
岩井 晋 氏 SI事業部 部長  
発表企業業種:情報システム 取扱品:アパレル・アクセサリ

RFIDを活用し、作業品質と生産性の向上に取り組んだ事例。顧客の商材には全てRFIDが付けられており、すでに梱卸・検品にRFIDを使用していた。今回の取組みでは、これまで紙のリストとハンディターミナルを使用していたピッキングや入庫といった業務について、タブレットとRFIDリーダを活用したシステムを構築することで、作業品質と生産性の向上とともにペーパーレス化を実現させた。

14:35-15:00 事例①～③の講評 中野 昭男 中部物流改善事例発表会 2018 実行委員会 副委員長のぞみ経営研究所 所長  
(日本物流資格士会 中日本委員会 委員長)  
【発表者記念品贈呈 および 休憩】

④ 15:00-15:20  
人の意識・行動に特化した  
安全教育活動の実施  
ホンダロジコム(株)  
服部 慶子 氏 中部物流部  
発表企業業種:物流事業者 取扱品:衛生機器

衛生機器の倉庫内物流における安全教育の改善に取り組んだ事例。従来、作業員全員に対して、同じ内容の安全教育を行っていた。今回の取組みでは、作業中の危険に対する感受性や敢行性に関するアンケートを実施し、作業員を危険認識度・行動面で4タイプに区別する事で、タイプ別に異なる方法で教育を行い、安全意識の向上を図った。

⑤ 15:20-15:40  
無理・無駄・ムラを無くそう  
～次の繁忙期に向けて生産性10%向上～  
日本トランスシティ(株)  
圓佛 一雄 氏 貨物流通南グループ 河原田倉庫  
グループリーダー  
発表企業業種:物流事業者 取扱品:日用雑貨

ピッキング作業場の商品保管レイアウト変更に伴うピッキング作業および在庫補充作業の生産性向上に取り組んだ事例。出荷取扱量が毎年10%以上増加するなか、荷量に応じた適切な人数による作業を予定していたが、現実では常に欠員となっていた。出荷取扱量と作業員の欠員数とのギャップを埋めるべく、作業生産性を年間で10%以上向上させるという目標を掲げ、作業生産性向上を図った。

⑥ 15:40-16:00  
202X年無人化工場に向けた  
物流技術の取り組み  
ジヤトコ(株)  
西尾 省吾 氏 技術統括部 物流技術課  
(第69期物流技術管理士)  
発表企業業種:メーカー 取扱品:自動車部品

将来の無人化工場実現に向けた物流改善について、以下の2つの柱を立てて取り組んだ事例。  
1)無付加価値作業の“限りない排除”  
2)物流品質の“限りない追求”  
上記を達成するため、物流技術部署として機器の開発・導入を行い、人員削減、品質向上といった成果を得ることができた。

16:00-16:25 事例④～⑥の講評 中野 昭男 中部物流改善事例発表会 2018 実行委員会 副委員長のぞみ経営研究所 所長  
(日本物流資格士会 中日本委員会 委員長)  
【発表者記念品贈呈 および 休憩】

⑦ 16:25-16:45  
【2018年度物流合理化賞受賞事例】  
重量物取り扱い職場における  
女性活躍推進  
～女性からの視点による働きやすい職場作り～  
東芝ロジスティクス(株)  
前田 貴子 氏 三重ロジセンター  
TLロジサービス(株)  
発表企業業種:物流子会社 取扱品:モーター・変圧器等

取り扱い製品が重量物であることや機材に関する資格保有者等の多くが男性であったため、性別で役割分担が発生し双方の業務進捗の違いにより作業の停滞が発生していた。そこで、女性でも重量物の梱包ができるように門型クレーンを設置し教育訓練を実施し、各種資格取得や多能工化を進め作業の停滞を大幅に削減した。これにより、女性も率先して業務を遂行できる働きやすい環境となった。

16:45-17:00 【閉会挨拶】 橋爪 茂久 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事

- ◆ 中部物流改善事例発表会2018 実行委員会委員一覧 ◆ (2018年9月現在、敬称略)
- |  |  |
|--|--|
| 委員長 加藤 博巳 高末(株) 代表取締役 社長                               | 委員 古橋 正得 (株)豊田自動織機                         |
| 副委員長 中野 昭男 のぞみ経営研究所 所長<br>(日本物流資格士会)                   | トヨタL&Fカンパニー<br>物流エンジニアリング部 企画室 室長          |
| 委員 平野 光博 アトラスカーゴサービス(株)<br>執行役員 物流事業部 部長<br>(日本物流資格士会) | 委員 奥山 謙介 日本トランスシティ(株)<br>経営企画部 部長          |
| 委員 西山 幸夫 コクヨサプライロジスティクス(株)<br>CSオペレーション部 中部 IDC 所長     | 委員 檀 直正 (株)富士ロジテックホールディングス<br>執行役員         |
| 委員 金本 俊哉 佐川グローバルロジスティクス(株)<br>名古屋支店 支店長                | 委員 峰澤 彰宏 (株)MINEZAWA 代表取締役社長<br>(日本物流資格士会) |
| 委員 伊藤 裕明 (株)ダイフク 名古屋支店 支店長                             | 委員 川北 俊信 名港海運(株) 業務部 部長                    |
|  | 委員 猪野 直人 リコーロジスティクス(株)<br>中部事業部 事業部長       |

※都合により発表者、テーマが変更になる場合がございます。